

【京都市男女共同参画センター ウイングス京都】

事業を行った背景

若年層が性暴力や性被害の被害者や加害者になるケースが増加している。

その背景には、社会の中で性をタブー視する傾向があること、これまでの性教育では性を通じた人間関係の構築が難しいことなどが挙げられる。

目的・目標

- ◆若年層が性暴力について自分事として捉えることのできる機会を提供し、彼らが性暴力の被害者にも加害者にもならないことを目的とした。
- ◆さらに第三者介入が出来る若年層を増やすことを目標とした。

事業の特徴

◆テーマ設定

馴染みのない「性的同意」をテーマにした。

◆親しみやすい啓発誌

学生たちのアイデアと専門的な内容のバランスがとれた啓発誌である

◆より早く、より多くの方に届ける

SNSによる広報・HPからのダウンロード可能

工夫点

◆デザイン

親しみやすく、若年層が手に取りやすいデザインにした。

◆構成

行政の啓発冊子のイメージを払しょくするため、学生を前面に出した構成にした。

◆学生たちへの指導

ジェンダーの視点や性暴力の実態等について学べる機会を提供した。

◆セクシュアルマイノリティへの配慮

事業の効果

- ◆若年層が問題意識を持った⇒さらにアクションをおこした。(高校生、大学生、ジェネシス)

- ◆想定していた対象以外にもニーズがあることが発覚した。(思春期の親、教育機関からの問い合わせ多数)

今後の課題

“新たな発想で多様な協働”の継続
アクションを起こした市民へのサポート体制
ニーズを反映させた発展的事業の実施

若年層が性暴力の被害者にも加害者にもならないために さらに、第三者介入ができるように

発行部数 20,000部
A42つ折り 8P カラー
テーマ 性的同意

◆内容◆

- 1.まずは第一歩！性的同意を取るって、どういうこと？
- 2.チェックしてみた！性的同意って何？
- 3.海外の“性”事情を知ってほしい！日本と海外、どう違う？
- 4.インタビュー①京都SARA 井上摩耶子さん
- 5.インタビュー②京都教育大学 関口久志さん
- 6.性的同意の取り方・断り方
- 7.ブックリスト
- 8.学生たちからメッセージ
- 9.もしものときの相談窓口

